

エコ・シティ・プロジェクト詳細

プロジェクト背景・概要：

カンボジアでは、近年の急速な経済成長を受けて、年々都市部における環境負荷が増加しており、行政のみならず一般市民による取り組みが急務となっています。

日本政府の政府開発援助（ODA）実施機関として JICA は、1998 年からプノンペンを中心に排水改善・洪水対策の支援を行ってまいりましたが、不適切な廃棄物の管理や投棄による悪影響は小さくありません。また、プノンペンはカンボジアの首都であるにも拘らず、廃棄物の最終処分場は未だに非衛生的なオープンダンプ方式をとっており、また下水処理場も存在しないため、生活排水・汚水も処理されず河川にそのまま放流されています。廃棄物や環境汚染に関する市民の認識や知識も限られており、学ぶ機会もほとんどありません。成長著しいカンボジアにとって、環境への配慮がますます重要になってくることは必至です。このような背景の下、JICA がこれまで支援・整備してきた施設、「第二次プノンペン都排水改善・洪水防御計画」で整備した第 5 号排水ポンプ場とその地下貯水施設の空間を活用し、アートという切り口で社会貢献活動を展開する Social Compass の共催で“エコ・シティ・プロジェクト”と題するイベントを開催する運びとなりました。

スケジュール詳細：

時間	26日(金)		27日(土)			28日(日)			29日(月)	
	地下	屋外	地下	屋外	地下	屋外	地下	屋外	地下	屋外
9:00			プログラム上映						プログラム上映	プレスツアー
10:00	ループ上映	開会式	プログラム上映	お絵描きWS	ゴミ拾いWS	ループ上映	お絵描きWS	ゴミ拾いWS	ループ上映	
11:00	プログラム上映	お絵描きWS	プログラム上映							
12:00	昼休憩		昼休憩			昼休憩			(終了)	
14:00	プログラム上映	お絵描きWS								
15:00	プログラム上映	お絵描きWS								
16:00	プログラム上映	お絵描きWS	ループ上映	お絵描きWS	ゴミ拾いWS	ループ上映	お絵描きWS			
17:00										
18:30										

※プレス対応枠は で囲われた部分

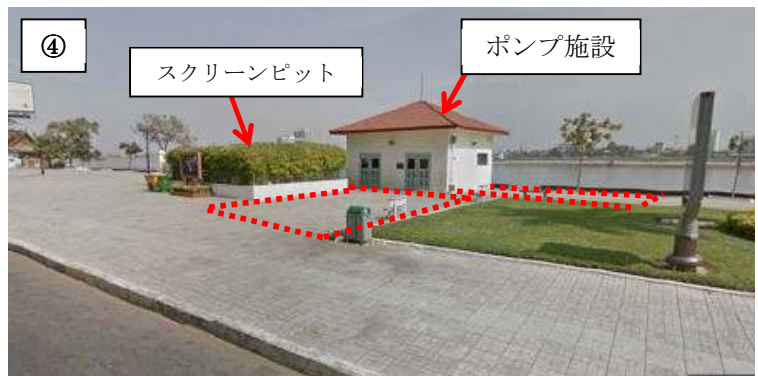
※スケジュールの詳細（時間や枠）は変更される可能性あり

※プログラム上映は各 20 分、お絵描きワークショップ(WS)入れて 1 時間

※ループ上映は約 20 分の映像を繰り返し上映（地下施設への入場制限は必要に応じて実施）

※指定小学校対象イベント、一般公開、カンボジアプレス対象ツアー、指定大学生対象イベント

開催場所：



① 開催場所 ②開催場所の詳細 ③地下貯水施設（地下部） ④テント設営箇所（屋外部）

協賛会社概要：

会社名：興亜商事株式会社

代表：奥村 雄介

設立：1949年1月

本社：名古屋市千種区北千種 1-8-26

ウェブサイト：<http://www.koua-shouji.co.jp/corporateprofile/>

私たち興亜商事は『社員・家族の「笑顔」と「元気」、そして「成長」を大切にする会社作り』を理念の冒頭に掲げる創業65年の会社です。経営ビジョンは「I love eco life」。再生資源の回収からリサイクルに必要な中間処理業務、一般・産業廃棄物の収集運搬及び一般廃棄物の中間処理業務だけでなく、廃棄物の管理業務やコンサルティング業務、子どもたちへの環境教育・環境イベントなどもおこなっています。「興亜商事そのものが社会貢献」と言ってもらえるよう障害者施設との連携や乳がんの早期発見を呼びかける団体に参加、さらには海外の少年兵を救う団体と協同してプロジェクトを進めるなど、全力で社会貢献活動をしています！！



会社名：GOMI RECYCLE110CO.,LTD.（興亜商事の現地法人）

代表：奥村雄介

設立：2015年7月

本社：3rd Floor, The iCON Professiona Building 216 Nordom, Phnom Penh, Cambodia

ウェブサイト：<http://www.koua-shouji.co.jp/corporateprofile/>

「カンボジアからゴミ山を無くしたい」という大きな夢を持ち、私たちはカンボジアに進出しました。社名には、日本の技術だけでなく「三方よし」や「感謝の気持ち」を大切にする日本の価値観を取り入れるため、日本語の「ごみ（GOMI）」を付けました。そして、私たちがカンボジアの環境汚染を食い止め、将来、廃棄物の問題を多く抱えるカンボジアを笑顔にするため、日本の警察の電話番号である「110番」を付けました。スヴァイリエン市ではJICAさんに応援頂き「市民」「行政」「最終処分業者」とチームを組んでゴミ山の削減に向けた調査業務を実行中です。プノンペンでは、工場やオフィスから出る再生資源の回収及びスタッフへの環境教育など、廃棄物全般の管理・コンサルティング業務を行っています。カンボジアで廃棄物の処理にお困りの皆様、ぜひご相談ください！！

会社名：株式会社 林田産業
代 表：林田 賀津利
設 立：1975年6月2日
本 社：福岡県福津市中央5丁目12番1号
ウェブサイト：<http://sojinin.co.jp/>



昭和30年から福岡県福津市で一般廃棄物の収集運搬・浄化槽および公共下水道処理施設維持管理を行っています。ごみのマネジメントに関しては61年の経験があります。カンボジアでもJICA案件として、下水汚泥、セプティックタンクの汚泥を、生ごみ、ヤシ殻と合わせて堆肥にリサイクルする調査を行っています。カンボジアでは現地法人として Hayashida Japan Agriculture Co., Ltd (略称 HJA) を2015年に設立しました。前述した汚泥リサイクル堆肥が実用化段階になった暁には現地法人の HJA がそのリサイクル堆肥の製造・販売を手掛ける予定です！

会社名：Hayashida Japan Agriculture Co., Ltd (HJA/林田産業の現地法人)
代 表：鍋島克仁 代表取締役社長
設 立：2015年2月



本 社：Office No.12A at Hotel Cambodiana (First basement), 313 Sisowath Quay, Phnom Penh, Cambodia
カンボジアで、有機農業を広める事業を行っています。弊社の事業のセールスポイントは、土壌分析・土壌診断・施肥設計を行い、農家の方それぞれの状況（土壌環境、作りたい作物）に応じたアドバイスを提供できることです。弊社の目標は、一州一品！各州で特産品を作りたいと考えています。富がプノンペンに集中しているのが現状ですが、農家でも有機農業を正しくやれば、プノンペンの会社員の年収以上の収入を取得できるように、農業を魅力的なビジネスにすることが使命です。
また、ごみ問題に悩まされているカンボジアにおいて、ごみ全体の70%を占める生ごみの問題を解決する一手として、分別された生ごみをリサイクルする計画を進めております。これにより、ごみの減量とカンボジア産の有機肥料の製造を行い、「農業の活性化」に結び付けていきたいと考えております！

会社名：メタウォーター株式会社
代 表：木田 友康



設 立：2008年4月1日
本 社：東京都千代田区神田須田町一丁目25番地 JR 神田万世橋ビル
ウェブサイト：<http://www.metawater.co.jp/>

上下水・再生水処理、海水淡水化等の水環境分野の各種装置類、施設用電気設備等の製造・販売、各種プラント設計・施工・請負

会社名：METAWATER Co.,Ltd. (メタウォーター社の駐在員事務所)

代 表：水谷 滋

本 社：17th Floor, Phnom Penh Tower, #455, Monivong Bld, Sangkat Boeung Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia.

メタウォーターは、浄水場、下水処理場の計画、設計から建設、運転管理まで担う企業であり、カンボジアの水環境の改善に少しでもお役に立てればと考えております。ケップ州では、弊社が納入した移動浄水車が水道の行き届かない地域に安全な水を供給しています。

また、カンボジアでの社会貢献として、毎年12月に行われている日本ゆかりのシェムリアップハーフマラソン大会のスポンサーとして大会を盛り上げています。ゴール地点でのシャワー供給は大会の定番となっています。

エコ・シティ・プロジェクト詳細

プロジェクト背景・概要：

カンボジアでは、近年の急速な経済成長を受けて、年々都市部における環境負荷が増加しており、行政のみならず一般市民による取り組みが急務となっています。

日本政府の政府開発援助（ODA）実施機関として JICA は、1998 年からプノンペンを中心に排水改善・洪水対策の支援を行ってまいりましたが、不適切な廃棄物の管理や投棄による悪影響は小さくありません。また、プノンペンはカンボジアの首都であるにも拘らず、廃棄物の最終処分場は未だに非衛生的なオープンダンプ方式をとっており、また下水処理場も存在しないため、生活排水・汚水も処理されず河川にそのまま放流されています。廃棄物や環境汚染に関する市民の認識や知識も限られており、学ぶ機会もほとんどありません。成長著しいカンボジアにとって、環境への配慮がますます重要になってくることは必至です。このような背景の下、JICA がこれまで支援・整備してきた施設、「第二次プノンペン都排水改善・洪水防御計画」で整備した第 5 号排水ポンプ場とその地下貯水施設の空間を活用し、アートという切り口で社会貢献活動を展開する Social Compass の共催で“エコ・シティ・プロジェクト”と題するイベントを開催する運びとなりました。

スケジュール詳細：

時間	26日(金)		27日(土)			28日(日)			29日(月)	
	地下	屋外	地下	屋外	地下	屋外	地下	屋外	地下	屋外
9:00			プログラム上映						プログラム上映	プレスツアー
10:00	ループ上映	開会式	プログラム上映	お絵描きWS	ゴミ拾いWS	ループ上映	お絵描きWS	ゴミ拾いWS	ループ上映	
11:00	プログラム上映	お絵描きWS	プログラム上映							
12:00	昼休憩		昼休憩			昼休憩			(終了)	
14:00	プログラム上映	お絵描きWS								
15:00	プログラム上映	お絵描きWS								
16:00	プログラム上映	お絵描きWS	ループ上映	お絵描きWS	ゴミ拾いWS	ループ上映	お絵描きWS			
17:00										
18:30										

※プレス対応枠は で囲われた部分

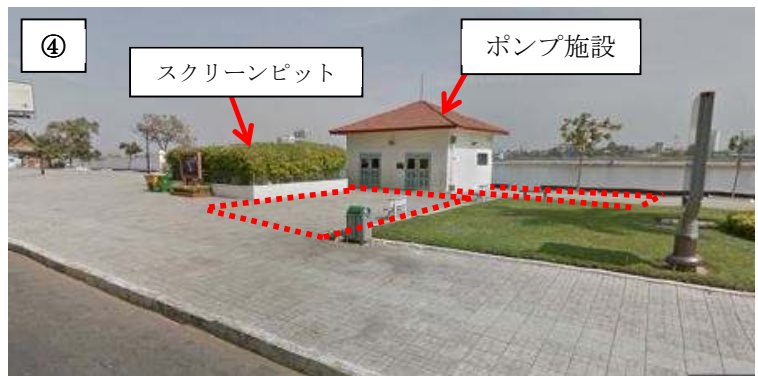
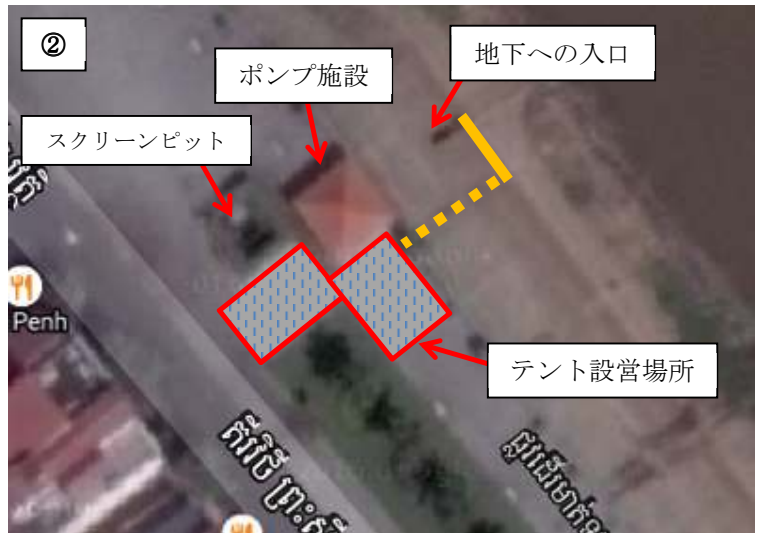
※スケジュールの詳細（時間や枠）は変更される可能性あり

※プログラム上映は各 20 分、お絵描きワークショップ(W.S)入れて 1 時間

※ループ上映は約 20 分の映像を繰り返し上映（地下施設への入場制限は必要に応じて実施）

※指定小学校対象イベント、一般公開、カンボジアプレス対象ツアー、指定大学生対象イベント

開催場所：



① 開催場所 ②開催場所の詳細 ③地下貯水施設（地下部） ④テント設営箇所（屋外部）

協賛会社概要：

会社名：興亜商事株式会社

代表：奥村 雄介

設立：1949年1月

本社：名古屋市千種区北千種 1-8-26

ウェブサイト：<http://www.koua-shouji.co.jp/corporateprofile/>

私たち興亜商事は『社員・家族の「笑顔」と「元気」、そして「成長」を大切にする会社作り』を理念の冒頭に掲げる創業65年の会社です。経営ビジョンは「I love eco life」。再生資源の回収からリサイクルに必要な中間処理業務、一般・産業廃棄物の収集運搬及び一般廃棄物の中間処理業務だけでなく、廃棄物の管理業務やコンサルティング業務、子どもたちへの環境教育・環境イベントなどもおこなっています。「興亜商事そのものが社会貢献」と言ってもらえるよう障害者施設との連携や乳がんの早期発見を呼びかける団体に参加、さらには海外の少年兵を救う団体と協同してプロジェクトを進めるなど、全力で社会貢献活動をしています！！



会社名：GOMI RECYCLE110CO.,LTD.（興亜商事の現地法人）

代表：奥村雄介

設立：2015年7月

本社：3rd Floor, The iCON Professiona Building 216 Nordom, Phnom Penh, Cambodia

ウェブサイト：<http://www.koua-shouji.co.jp/corporateprofile/>

「カンボジアからゴミ山を無くしたい」という大きな夢を持ち、私たちはカンボジアに進出しました。社名には、日本の技術だけでなく「三方よし」や「感謝の気持ち」を大切にする日本の価値観を取り入れるため、日本語の「ごみ（GOMI）」を付けました。そして、私たちがカンボジアの環境汚染を食い止め、将来、廃棄物の問題を多く抱えるカンボジアを笑顔にするため、日本の警察の電話番号である「110番」を付けました。スヴァイリエン市ではJICAさんに応援頂き「市民」「行政」「最終処分業者」とチームを組んでゴミ山の削減に向けた調査業務を実行中です。プノンペンでは、工場やオフィスから出る再生資源の回収及びスタッフへの環境教育など、廃棄物全般の管理・コンサルティング業務を行っています。カンボジアで廃棄物の処理にお困りの皆様、ぜひご相談ください！！

会社名：株式会社 林田産業
代 表：林田 賀津利
設 立：1975年6月2日
本 社：福岡県福津市中央5丁目12番1号
ウェブサイト：<http://sojinin.co.jp/>



昭和30年から福岡県福津市で一般廃棄物の収集運搬・浄化槽および公共下水道処理施設維持管理を行っています。ごみのマネジメントに関しては61年の経験があります。カンボジアでもJICA案件として、下水汚泥、セプティックタンクの汚泥を、生ごみ、ヤシ殻と合わせて堆肥にリサイクルする調査を行っています。カンボジアでは現地法人として Hayashida Japan Agriculture Co., Ltd (略称 HJA) を2015年に設立しました。前述した汚泥リサイクル堆肥が実用化段階になった暁には現地法人の HJA がそのリサイクル堆肥の製造・販売を手掛ける予定です！

会社名：Hayashida Japan Agriculture Co., Ltd (HJA/林田産業の現地法人)
代 表：鍋島克仁 代表取締役社長
設 立：2015年2月



本 社：Office No.12A at Hotel Cambodiana (First basement), 313 Sisowath Quay, Phnom Penh, Cambodia
カンボジアで、有機農業を広める事業を行っております。弊社の事業のセールスポイントは、土壌分析・土壌診断・施肥設計を行い、農家の方それぞれの状況（土壌環境、作りたい作物）に応じたアドバイスを提供できることです。弊社の目標は、一州一品！各州で特産品を作りたいと考えています。富がプノンペンに集中しているのが現状ですが、農家でも有機農業を正しくやれば、プノンペンの会社員の年収以上の収入を取得できるように、農業を魅力的なビジネスにすることが使命です。
また、ごみ問題に悩まされているカンボジアにおいて、ごみ全体の70%を占める生ごみの問題を解決する一手として、分別された生ごみをリサイクルする計画を進めております。これにより、ごみの減量とカンボジア産の有機肥料の製造を行い、「農業の活性化」に結び付けていきたいと考えております！

会社名：メタウォーター株式会社
代 表：木田 友康



設 立：2008年4月1日
本 社：東京都千代田区神田須田町一丁目25番地 JR 神田万世橋ビル
ウェブサイト：<http://www.metawater.co.jp/>

上下水・再生水処理、海水淡水化等の水環境分野の各種装置類、施設用電気設備等の製造・販売、各種プラント設計・施工・請負

会社名：METAWATER Co.,Ltd. (メタウォーター社の駐在員事務所)

代 表：水谷 滋

本 社：17th Floor, Phnom Penh Tower, #455, Monivong Bld, Sangkat Boeung Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia.

メタウォーターは、浄水場、下水処理場の計画、設計から建設、運転管理まで担う企業であり、カンボジアの水環境の改善に少しでもお役に立てればと考えております。ケップ州では、弊社が納入した移動浄水車が水道の行き届かない地域に安全な水を供給しています。

また、カンボジアでの社会貢献として、毎年12月に行われている日本ゆかりのシェムリアップハーフマラソン大会のスポンサーとして大会を盛り上げています。ゴール地点でのシャワー供給は大会の定番となっています。